

新千歳空港を核とした 観光交流促進プログラム



平成17年4月
新千歳空港利用促進協議会

- 目 次 -

1．観光交流促進プログラム策定の目的	．．．．．	1
2．地域の観光交流戦略	．．．．．	3
(1) ビジット・ジャパン・キャンペーン地方連携事業	．．．．．	3
(2) 北海道の取組み	．．．．．	4
(3) 札幌市集客交流促進プラン	．．．．．	5
(4) 千歳市観光基本計画	．．．．．	6
(5) 苫小牧の観光	．．．．．	7
(6) 苫東への連絡道路	．．．．．	8
(7) 道央圏連絡道路（一般国道337号）	．．．．．	9
3．地域の観光促進に新千歳空港が果たす役割	．．．．．	10
4．新千歳空港に求められる取り組み（実施メニュー）	．．．．．	11
5．プログラム推進体制	．．．．．	20

新千歳空港を核とした観光交流促進プログラム

平成17年4月19日
新千歳空港利用促進協議会

1. 観光交流促進プログラム策定の目的

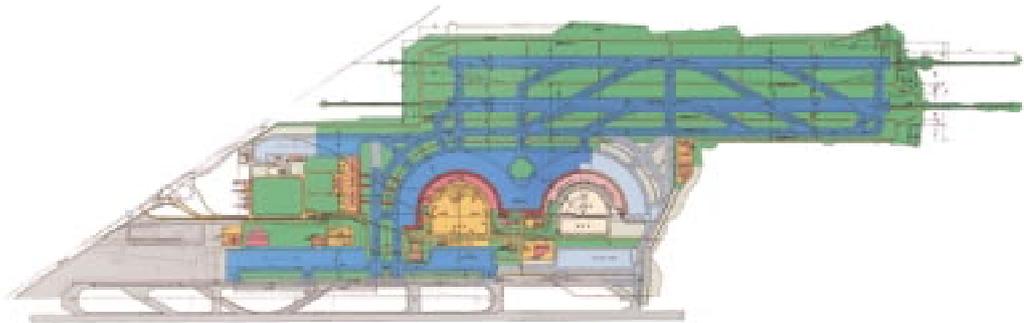
新千歳空港は、国内26路線、国際7路線(H17.4.1現在)を有し、年間乗降客数1,700万人を越える北海道の空の玄関である。北海道の自立と発展に資するためには国内外を問わず、観光の誘致が重要な施策であるが、航空機の安定運航・旅客の利便性向上などの点から、改善すべき点も多い。

本プログラムは、関係者が連携を取りつつ、観光交流促進のための施策を総合的に推進することを目的として取りまとめたものである。

《新千歳空港の沿革、整備概要》

新千歳空港は、従来より北海道の空の玄関であった千歳飛行場（防衛庁所管の共用飛行場）の南東に、3,000m滑走路2本を持つ民間専用の空港として建設が進められ、昭和63年7月20日に第1期計画の3,000m（A）滑走路1本を有する第2種空港として供用を開始した。

さらに、第1期計画の2本目の3,000m（B）滑走路も平成8年4月26日に供用が開始され、国内航空路線の基幹空港として、また北海道における国際航空の拠点として重要な役割を担っている。



概況

設置管理者 国土交通省

位置 N42°46'31" E141°41'33"

標高 21.3m

面積 719ha

着陸帯 A3,120m×300m（芝）

B3,120m×300m（芝）

滑走路 A3,000m×60m N7°22'43"W（AC：LA-1）

B3,000m×60m N7°22'34"W（AC：LA-1）

エプロン 663,815㎡ L40、M8、S2

駐車場 91,777㎡ 2,962台

ターミナルビル 152,695㎡ 4階

無線施設 ILS（CAT-1）、NDB、VOR/DME等

運用時間 00：00～24：00（24時間）

ウインド・カバレッジ 99.1%（15ノット）



沿革

昭和63年07月20日 新千歳空港開港（A滑走路供用開始）

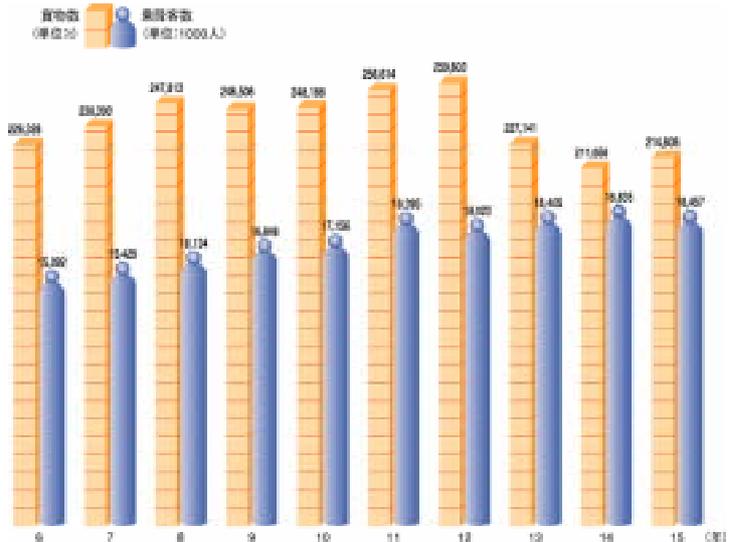
平成4年07月 新ターミナル地区供用開始

平成8年04月 B滑走路供用開始

平成11年12月 年間乗降客数1,800万人突破

《新千歳空港の利用実績》

平成15年の国内線旅客数は1,800万人を超え、東京国際(羽田)空港、大阪国際(伊丹)空港に次ぐ全国第3位の乗降客数となっている。北は稚内から南は沖縄まで全国の主要都市をネットワークし、さらに道内路線の拠点としても重要な役割を果たしている。また、香港、瀋陽、上海、台北、ソウル、グアム、ユジノサハリンスクの7路線の国際定期便が就航している。



《新千歳空港の立地条件》

新千歳空港は、千歳市と苫小牧市の境界に位置し、背後には、人口187万人(北海道の人口の約3割、全国5位)を擁する政令指定都市である札幌市があり、北海道経済の中心となっている。また、石狩湾新港から札幌市を經由し苫小牧港湾へと続く経済の大動脈に位置することから、道内各地へのアクセスも充実している。

- JR快速エアポート バス タクシー・レンタカー
- 新千歳空港から15分毎に出発。36分で札幌駅に到着
- 新千歳空港から10～15分毎に出発。1時間10分で札幌に到着
- 新千歳空港から札幌市内へは約60分、約45Km(高速道路使用)

新千歳空港から道内主要都市までの距離及び所要時間

苫小牧市	JR特急	約20分	タクシー・レンタカー	30km	約 30分
小樽市	JR快速	約1時間11分	タクシー・レンタカー	65km	約1時間30分
旭川市	JR特急	約2時間1分	タクシー・レンタカー	173km	約3時間30分
帯広市	JR特急	約2時間30分	タクシー・レンタカー	195km	約4時間00分

(位置図)



2. 地域の観光交流戦略

北海道をはじめとして、地元千歳市・札幌市などの観光振興計画等の中でも、空港に関しては、下記のような施策が求められている。

- ・ 長距離国際線対応の空港施設の充実
- ・ 航空路線網の充実
- ・ ユニバーサルデザインの推進
- ・ 観光案内・情報提供の充実
- ・ 外国語表記の案内板設置

(1) ビジット・ジャパン・キャンペーン地方連携事業

ビジット・ジャパン・キャンペーン地方連携事業



政府では、2010年までに訪日外国人旅行者を1千万人に倍増することを目標に、平成15年度よりビジット・ジャパン・キャンペーンを実施している。北海道運輸局においても自治体や観光関連団体等とともに地方連携事業を実施し、外客誘致活動を積極的に展開している。

平成16年度事業の概要
中国ミッション派遣事業
潜在的訪日旅行者が、数多く見込まれる中国上海市、広州市へ官民一体となった観光ミッションを派遣することにより積極的なPR活動を実施。



(平成16年11月8日～11日)
北海道経済連合会、北海道観光連盟、北海道運輸局、北海道、札幌市等

北海道観光ビジネス・フォーラム
VJC北海道の中心事業として、平成15年度に台湾・香港市場を対象に開催して関係者から高い評価を得た「北海道観光ビジネス・フォーラム」を平成16年度は、中国・韓国の旅行エージェント等を招聘して開催。(平成17年2月22日) 招聘者の新千歳空港到着時には関係者が出迎え。



メディアを活用した宣伝事業
韓国などから新聞・雑誌の記者を招聘し、各種メディアに北海道関連の記事を掲載することにより北海道への消費者マインドを向上(道内各地で実施)

写真は北海道運輸局の提供

(2)北海道の取組み

<http://www.pref.hokkaido.jp/keizai/kz-ksnko/340-hakusyo/gaiyo-2004.pdf>

北海道観光の現状と課題

自然環境保全と受入環境の整備

<課題>

北海道の自然環境を保全し、「景観」「遊」「食」などの魅力を楽しめる観光地づくり
利用しやすい交通アクセスの改善、観光案内機能の充実
高齢者、障害者、外国人等、誰もが安心して快適に旅行できる環境・ホスピタリティの向上
観光客の入り込みの拡大

<課題>

観光地や観光ルート of 拡大と新たな観光資源の開発
観光資源の発掘・活用を目指し、地域内の住民・行政・産業が連携した魅力ある観光地づくり
急増する外国人客への対応

<課題>

東アジア地域を中心とした積極的な宣伝誘致活動の展開
情報提供体制の整備 国際航空路線の拡充促進
観光関連産業の振興



<課題>

観光関連産業をリーディング産業とするため、地域内の人材が観光に関わる事業展開
観光関連産業と農業や水産業など他の産業との連携
観光を軸に地域経済や地域内の資金循環の拡大を図り、地域全体での産業振興

北海道観光のくにつくり行動計画

計画の位置づけ

「北海道観光のくにつくり条例」に基づき、道民や観光事業者、観光関係団体が観光振興を効果的に推進していくための行動指針を定め、道の観光振興施策を示すことにより、観光を総合的、計画的に推進していくための基本的事項や目標をあきらかにした(平成14年3月に策定)。

計画の期間

平成14年度から平成19年度までの6年間

計画の目標

- ・誰もが満足できる質の高い観光地をつくり、国内外の多くの方に何度でも北海道を訪れていただく
- ・観光振興により本道経済の活性化を図る

行動指針

- 行動指針 自然環境を生かした取組の促進
- 行動指針 食を生かした魅力アップ
- 行動指針 あたたかく迎える受入体制の整備



写真は、北海道HPより転載

(3) 札幌市集客交流促進プラン

<http://www.city.sapporo.jp/keizai/shukyaku/pdf/honpen.pdf> (札幌市集客交流促進プラン)

<http://www.city.sapporo.jp/keizai/kanko/index.html> (札幌の観光行政HP)

集客交流促進施策の基本方針

施策の基本方針

【方針1】来札幌誘致拡大に向けた効果的な事業展開

- (1) 観光客等の効果的な誘致
- (2) コンベンションの誘致
- (3) 道内集客交流資源とのネットワーク化
- (4) 集客交流資源の積極的な活用

【方針2】住んで快適訪ねて楽しいまちづくり

- (1) 魅力的で活力ある中心市街地の整備
- (2) 豊かな自然環境の保全・活用
- (3) 健康保養地「定山溪温泉」の活用

【方針3】世界の集客交流都市としてのホスピタリティの向上

- (1) 札幌へのふるさと意識の高揚
- (2) ボランティア活動の促進
- (3) 受入れ体制の充実

【方針4】札幌を舞台とした交流活動の促進

- (1) 芸術・文化・スポーツ交流活動の促進
- (2) 産業交流活動の促進



集客交流促進のための重点事業

札幌を積極的に売り出そう～シティPR事業

- (1) ペイドパブリシティ事業
- (2) フィルムロケ都市としてのPR事業

継続したコンベンションの開催にむけて～コンベンション誘致強化・支援事業

- (1) コンベンション誘致強化事業
- (2) コンベンション開催支援サービスの強化
- (3) アフターコンベンションの企画・連携
- (4) コンベンションの企画調査

誰もが楽しく自由に歩ける街に～おもてなし環境づくり事業

- (1) 案内機能の充実

新千歳空港

道外及び海外からの航空機による札幌への入り口となる新千歳空港においては、民間などの情報提供機能に、本市の案内所の所在や機能を周知し、来札幌者のスムーズな誘導を図っていきます。

- (2) 公共サイン・観光サインの整備
- (3) 市内周遊のためのホームページの開設
- (4) 集客交流施設に関する情報の提供



札幌大通公園



札幌時計台



北大構内のイチョウ並木



大通公園ホワイトイルミネーション

写真は、札幌市HPより転載

(4) 千歳市観光基本計画

観光基本計画

千歳観光が抱える課題

- ・ 立ち寄り型観光からの脱却
- ・ 多様な観光資源や良好な観光アクセスの更なる活用
- ・ 季節による利用格差の少ない安定した観光基盤の確立
- ・ 観光都市としての認識の普及
- ・ 観光都市であるという地域の自覚や意識の向上

千歳観光の核とすべき4つの資源

- ・ 自然 国立公園支笏湖を中心とした豊かな大自然
- ・ 産業 工場見学など観光資源として活用できる産業
- ・ 国際 海外と直結する空港がもたらす国際性
- ・ 住民 ホスピタリティあふれる地域住民



千歳サケのふるさと館

基本目標

周遊型観光の確立

「へ行く」といった個別の行動から「そこで何ができるのか」「どんなニーズに応えることができるのか」を整理し、様々な行動を喚起する。

目的別に観光資源を分類し、その中の資源間移動を動機づけるべく再構築する。

都市機能の充実

至便な交通アクセス・良質な自然環境・工場、基地、空港といった各種基盤施設を観光視点からの整備により活用が可能となる。

- ・ 工場見学を中心とした産業観光の受入
- ・ 空港関連施設を活用しての国際コンベンション都市機能の強化

観光の通年化

冬季観光の入り込みを押し上げ観光を通年化することにより、関連産業の施設と人材の有効活用を促し、安定した観光基盤の確立を図る。

誘致宣伝・情報提供体制の強化

観光客のニーズに沿ったアプローチとして、単なる観光資源ごとの集客ではなく、観光の博物館的な機能を強化宣伝することで、千歳圏全体のイメージアップを図る。

ホスピタリティの醸成

「産業(工場)」「基地」「空港」という強いイメージから、支笏湖をはじめとする良質な観光資源に恵まれながら市民自体に観光地という認識が不足しており、産業観光や体験観光といった受け入れ体制整備とあわせ、千歳市全体のホスピタリティの醸成が観光地としての高い評価を受けるためには肝要である。



写真は、千歳市のHPより転載

(5) 苫小牧の観光

苫小牧の観光 観光産業の活性化

地域特性を活かした観光振興策を展開し、道内外から観光客を迎え入れ、観光産業の拡大を促進し、地域経済の活性化を図る。

広域交流の拠点づくり

全国・全道大会などの誘致、各種イベント開催及び支援を行うと共に、広域交流拠点づくりを目指す。

自然観光・体験観光・産業観光・食の観光をPR



ウトナイ湖

ウトナイ湖・樽前山など自然に恵まれた自然観光、オートリゾート・カヌー・乗馬が楽しめる体験観光、工業都市として産業を学ぶ産業観光、ホッキ貝・ハスカップを中心とした食の観光を全国に向けPRする。

観光振興事業

観光情報提供事業

ホスピタリティを醸成し、観光客に対応できる体制づくりを行う。

- ・観光案内所の機能強化
- ・観光ボランティアの育成事業

観光宣伝事業

- ・観光PR用写真付き切手シートの作製・販売事業
- ・観光案内用ホームページの充実

観光誘致宣伝事業

- ・首都圏で開催される全国的イベントへの参加
- ・首都圏での観光キャンペーンの実施
- ・四季ごとにイベントを開催し、観光客誘致を促進する
- ・新千歳空港において開催する、地元特産品販売・観光PRイベントを支援する

大会等誘致推進支援事業

各種大会誘致を推進することにより、地域産業の活性化とイメージアップを図る。

- ・各種全国・全道大会等誘致の強化
- ・合宿誘致の強化
- ・各種大会関係団体との連携強化



樽前山



オートリゾート苫小牧アルテン



ノーザンホースパーク



白鳥アリーナ(通年型屋内リンク)

写真は、苫小牧市HPより転載

(6) 苫東への連絡道路 <http://www.tomatoh.co.jp/>

苫東への連絡道路

苫東地域は、新千歳空港に近接し、苫小牧港を擁する恵まれた立地特性を有し、地域内に高速道路が走るなど、陸・海・空の交通アクセスに優れ国内外の交通拠点としての発展を目指す。

事業の目的

自然と都市機能を有する産業・技術交流拠点をを目指す。

事業概要

苫東は、北海道縦貫自動車道の苫小牧ICまで8km、札幌市との間を60分で直結し、苫小牧東ICから日高方面へ通じる高規格幹線道路が当地域を横断しています。苫東周辺には国道36号線・234号線・235号線が縦横に走り、道内各地と陸送が容易であります。



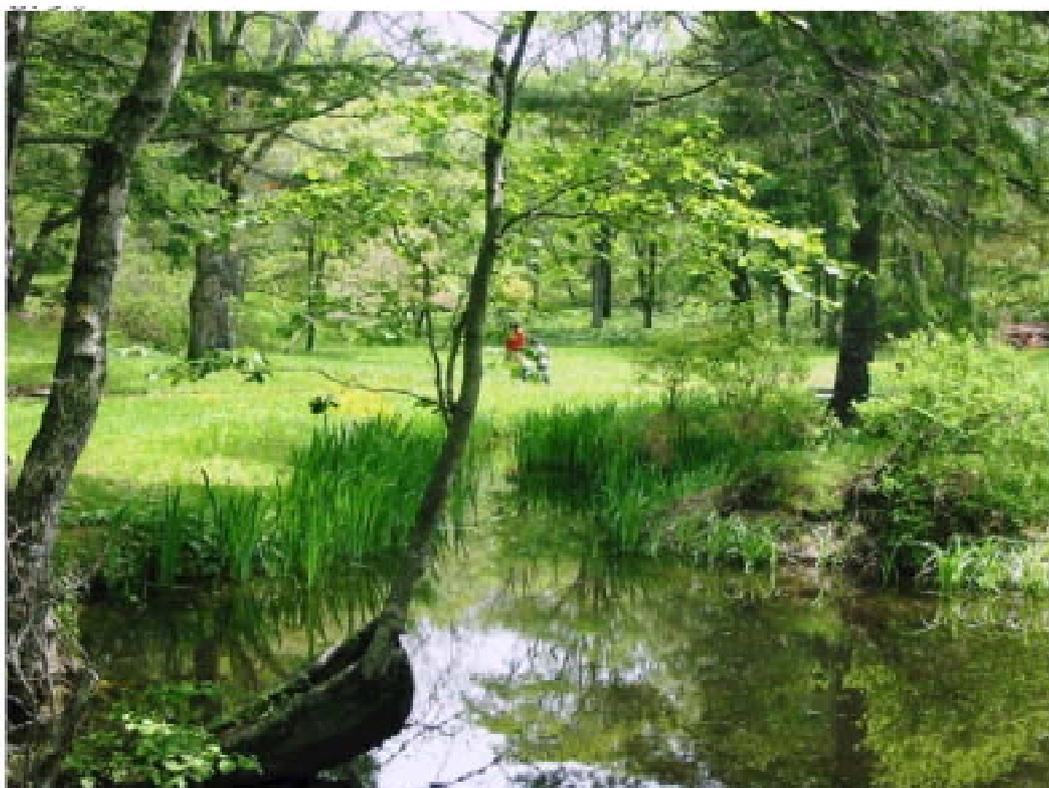
地図・写真は苫東HPより転載

苫東地域の自然空間・・・『つた森山林』 <http://www.tomatoh.co.jp/j/tutamori2.pdf>

この度、苫東地域内の『つた森山林』が平成19年春の第58回全国植樹祭の開催地に決定しました。

全国植樹祭は、天皇・皇后両陛下による苗木のお手植え・お手播きを始め、数万人参加による記念植樹・記念行事などが行われる一大行事です。

北海道では第12回全国植樹祭以来46年ぶり2回目の開催となります。



つた森山林の池／6月

(7)道央圏連絡道路（一般国道337号）<http://www.sp.hkd.mlit.go.jp/>

新千歳空港間連

事業の目的

国際的な交流拠点である新千歳空港、特定重要港湾苫小牧港、重要港湾石狩湾新港を結び、札幌圏における人流・物流の連携を図る。

事業概要

千歳市を起点とし、小樽市に至る延長80kmの高規格道路であり、新千歳空港関連事業としては、平成元年に事業化され、整備が進められている延長約9.2kmの道路である。



千歳空港IC

期待される効果

渋滞損失時間の短縮

平成14年実績で年間渋滞損失時間184千人・時間の削減

空港へのアクセス向上

沿線市町村や道東地区から新千歳空港へのアクセス向上

特定重要港湾及び重要港湾へのアクセス向上

新千歳空港関連の整備により、特定重要港湾苫小牧港、特定重要港湾石狩湾新港、小樽港へのアクセスが向上する

地域開発プロジェクト等の支援

千歳市では、千歳科学技術大学を中心とする「ホトニクスバレー・プロジェクト」や高度インテリジェントオフィスの集積する「オフィスアルカディア計画」などの地域プロジェクトが展開されており、新千歳空港関連の沿線には多くの工業団地が集積しており、これらの地域プロジェクトや拠点開発を支援する

主要な観光地へのアクセス向上

「千歳サケのふるさと館」が立地し年間20万人以上、航空自衛隊が千歳基地で開催する「港空祭」に10万人が訪れるなど、新千歳空港関連の整備によって、主要な観光地へのアクセスが向上する



供用部分



写真及び図は北海道開発局HPより転載

3. 地域の観光促進に新千歳空港が果たす役割

地域の観光戦略を踏まえ、観光交流を促進させるため、新千歳空港に求められる役割及び、関係者において実施すべき事項を下記のとおり整理した。

(1) 空港における航空サービスの向上

国際線の維持・拡大、国際線ターミナルの混雑の解消
就航率の向上
定時運航の確保にむけた、除雪の効率化及び融雪対策の検討
搭乗手続の簡素化
国内線ターミナルの混雑解消
国内線ターミナルの機能強化
国内路線の通年化及び誘致
乗り換え時間のサービス向上
診療所の休日対応
利用者意見の反映

(2) 空港アクセスの充実

アクセスの定時性確保・時間短縮
公共交通アクセスの充実

(3) 情報化の有効活用

運航情報の周知方法の改善
アクセス情報の周知方法の改善
観光情報の提供

(4) ユニバーサルデザイン

バリアフリーの促進
案内表示等の改善
外国語表示等の充実

(5) 空港を核とした地域づくり

空港周辺への滞留の促進
空港周辺プロジェクトの推進
国際的イベントのPR等
外国人観光客の誘致
空港の利用促進に関する市民参加
北海道を舞台とする映画等のロケーション支援・誘致

4 . 新千歳空港に求められる取り組み（実施メニュー）

本表においては、施策及び課題として整理された各テーマごとに、考えられる施策事例の案等をメニュー案として整理しています（一部、既に実施中のものも含んでいます。）

今後、空港関係者がここに整理された事例の案等を参考に、連携して航空サービスの質の向上施策に取組み、新千歳空港を地域の活性化や国際交流の促進の核として活用し、観光交流促進に寄与していくことが重要な課題です。

(1) 空港における航空サービスの向上

国際線の維持・拡大、国際線ターミナルの混雑解消

取り組み内容・目標	<ul style="list-style-type: none"> ・国際線ターミナルの拡張再配置・エプロンの整備 ・C I Q体制の充実 ・長距離国際線の安定運航を目指し、滑走路延長などハード面やソフト面を含めた総合的な施策を検討する ・定期・チャーター便・長距離国際線の誘致 ・海外に北海道の観光情報を積極的に発信
取り組みが求められる理由	<p>新千歳空港の利用促進と利便性向上のため、国際線ターミナルの混雑を解消するための拡張および施設の整備などを進めるとともに、C I Q体制の充実のための検討や就航規制の緩和が求められている。</p> <p>また、地理的な優位性を生かし欧米との長距離国際線を含めた誘致を進め、利用を促進するための観光情報を積極的に発信することが求められている。</p>
実施スケジュール	平成14年～
予想される効果	国際線旅客の対応および利便性向上による利用客の増加
取り組み主体	<p>（主務機関）東京航空局・北海道開発局・北海道・地方自治体</p> <p>・道経連・道商連</p> <p>（関係機関）北海道運輸局・航空会社・空港ビル・函館税関</p> <p>・札幌入国管理局・小樽検疫所</p>



写真はKLM HPより転載

就航率の向上

取り組み内容・目標	<ul style="list-style-type: none"> ・滑走路の双方向フルI L S化の検討 ・I L Sの高カテゴリー化の検討
取り組みが求められる理由	欠航の解消及び定時性の向上が求められている。
実施スケジュール	平成16年～
予想される効果	就航率及び定時性の向上による旅客利便性の向上及び利用客の増加
取り組み主体	<p>（主務機関）東京航空局・北海道開発局</p> <p>（関係機関）航空会社</p>

定時運航の確保に向けた、除雪の効率化及び融雪対策の検討

取り組み内容・目標予想される	<ul style="list-style-type: none"> 除雪時間の短縮 融雪対策の方式検討
取り組みが求められる理由	冬期間降雪時の除雪による遅延・欠航を軽減することが求められている。
実施スケジュール	平成17年～
予想される効果	定時性の確保および利便性の向上及び利用客の増加
取り組み主体	(主務機関) 東京航空局・北海道開発局

搭乗手続の簡素化

取り組み内容・目標	<ul style="list-style-type: none"> 搭乗手続の電子化を推進 携帯電話及びインターネットを活用した搭乗手続推進 入場ゲートを増設し手荷物検査待ち時間の短縮
取り組みが求められる理由	航空機利用者の搭乗手続に掛かる時間を短縮し、航空機利用の利便性を向上させることが求められている。
実施スケジュール	平成16年～
予想される効果	利便性の向上による利用客の増加
取り組み主体	(主務機関) 航空会社・空港ビル

国内線ターミナルの混雑解消

取り組み内容・目標	<ul style="list-style-type: none"> 出発ロビーの増床
取り組みが求められる理由	国内線の混雑を解消するため、乗降方法等の利用形態を検討し出発ロビーの増床を図ることが求められている。
実施スケジュール	平成17年～
予想される効果	利便性の向上による利用客の増加
取り組み主体	(主務機関) 空港ビル・航空会社

国内線ターミナルの機能強化

取り組み内容・目標	<ul style="list-style-type: none"> 国内線乗り継ぎの利便性向上 国内線バス搭乗口の増設及びバスラウンジの拡充
取り組みが求められる理由	国内線を乗り継ぐ場合、一端到着ゲートを出て、再度セキュリティチェックを受けなければならないため、乗降方法の検討を行い利便性の向上を図ることが求められている。 また、オープンスポットでの乗降時に利用するバス乗降口およびバスラウンジの混雑を解消するための拡充を図ることが求められている。
実施スケジュール	平成17年～
予想される効果	利便性の向上による利用客の増加
取り組み主体	(主務機関) 空港ビル・航空会社

国内路線の通年化および誘致

取り組み内容・目標	・ 季節運航路線の通年化及び新規路線の誘致等
取り組みが求められる理由	利用客のニーズに合わせ、国内路線の通年化および新規路線の拡大を図り、国内ネットワークを充実させ、利便性の向上を図ることが求められている。
実施スケジュール	平成17年～
予想される効果	利便性の向上による利用客の増加
取り組み主体	(主務機関) 北海道・地方自治体・道経連・道商連 (関係機関) 航空会社

乗り換え時間のサービス向上

取り組み内容・目標	・ 子供の遊び場、リラックスルームのPR及びサインの充実 ・ アミューズメント施設のニーズに合わせ、設置拡充
取り組みが求められる理由	乗降客の乗り換えおよび搭乗までの待ち時間のサービス向上のため、子供の遊び場やリラックスルーム等の施設の有効活用を促すPRおよびサインの充実を図ることが求められている。 また、ニーズに合わせた館内展示物の充実およびイベントの開催等を進めることが求められている。
実施スケジュール	随時
予想される効果	利便性の向上による利用客の増加
取り組み主体	(主務機関) 空港ビル

診療所の休日対応

取り組み内容・目標	・ 航空機の運航時間に合わせた診療時間の検討
取り組みが求められる理由	乗降客の緊急対応および空港ビル利用時の急患等に対応できるように、航空機の運航時間に合わせた診療時間の延長が求められている。
実施スケジュール	随時
予想される効果	利便性の向上による利用客の増加
取り組み主体	(主務機関) 空港ビル

利用者意見の反映

取り組み内容・目標	・ アンケート調査を実施し、施設整備に反映させる
取り組みが求められる理由	利用者等のニーズを把握し、航空サービスの高度化のための施策に反映させることが求められている。
実施スケジュール	平成17年～
予想される効果	利用者ニーズに合った施設整備による利便性の向上
取り組み主体	(主務機関) 空港ビル・航空会社・東京航空局 (関係機関) 北海道運輸局・北海道・地方自治体・道経連・道商連

(2) 空港アクセスの充実

アクセス定時性確保・時間短縮

取り組み内容・目標	<ul style="list-style-type: none">・ 高速道路から空港へのアクセス利便性の向上・ 国道の地域高規格道路整備を促進
取り組みが求められる理由	空港アクセスの時間を短縮し、利用者の利便性を向上させることが求められている。
実施スケジュール	平成15年～
予想される効果	利用者のニーズに合った施設整備による利便性の向上
取り組み主体	(主務機関) 北海道開発局、北海道 (関係機関) 地方自治体

公共交通アクセスの充実

取り組み内容・目標	<ul style="list-style-type: none">・ 空港利用者のニーズ等調査の実施・ 利用者のニーズを踏まえた公共交通アクセスの充実や乗り継ぎの円滑化が求められている。
取り組みが求められる理由	新千歳空港は北海道の玄関であり、かつ道内最重要の交通結節点の一つである。 鉄道の乗り入れや多方面へのバス路線の運航等アクセス交通の充実が進められてきているものの、更なる公共交通アクセスの充実や乗り継ぎの円滑化が求められている。
実施スケジュール	平成17年～
予想される効果	利便性向上による利用客の増加
取り組み主体	(主務機関) 北海道運輸局 (関係機関) 空港ビル・空整協・千観連・JR・東京航空局・北海道開発局

(3) 情報化の有効活用

運航情報の周知方法の改善

取り組み内容・目標	<ul style="list-style-type: none">・ インターネットによる航空機運航状況提供
取り組みが求められる理由	パソコンおよび携帯電話、カーナビ等によるインターネットを利用し、航空機の運航状況をリアルタイムで提供することで、利用者の利便性を向上させることが求められている。
実施スケジュール	随時
予想される効果	最新情報の提供による利用者の利便性向上
取り組み主体	(主務機関) 空港ビル (関係機関) 航空会社

アクセス情報の周知方法の改善

取り組み内容・目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ リムジンバスの情報提供の充実 ・ 駐車場の混雑状況情報の提供 ・ 交通の結節点に国際表示などによる案内板の充実
取り組みが求められる理由	<p>空港利用者の利便性を向上させるため、リムジンバスの情報、駐車場の混雑状況等を携帯電話等のインターネットによる情報提供を充実させることが求められている。</p> <p>また、外国人利用者の利便性およびホスピタリティー向上のため、ターミナルビル、道路、ＪＲ駅等の交通の結節点に国際表示などによる案内板の設置を充実させることが求められている。</p>
実施スケジュール	随時
予想される効果	最新情報の提供等による利用者の利便性向上
取り組み主体	<p>(主務機関) 空港ビル・空整協・千観連・ＪＲ・北海道開発局</p> <p>・ 地方自治体</p> <p>(関係機関) 道経連・道商連・北海道運輸局</p>

観光情報の提供

取り組み内容・目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 到着ロビーインフォメーションカウンター等で観光案内等の配付
取り組みが求められる理由	<p>空港利用者に対し、観光地の情報を提供しサービスの向上を図り、観光需要を増進させることが求められている。</p>
実施スケジュール	随時
予想される効果	観光情報の提供等による観光施設の利用増
取り組み主体	<p>(主務機関) 北海道・地方自治体・道経連・道商連</p> <p>(関係機関) 空港ビル</p>

(4)ユニバーサルデザイン

バリアフリーの促進

取り組み内容・目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歩道及び駐車場内へのルーフ設置、駐車場の屋内化（立駐） ・ 駐車場のヘルプカー配備促進 ・ ターミナルビル内のヘルプカー試験導入調査結果の検討 ・ ターミナル施設のバリアフリー化を促進 ・ 国際線ターミナルのバリアフリー化を促進
取り組みが求められる理由	<p>身障者、少子高齢者を含む全ての利用者が利用しやすい施設とするため、各施設のバリアフリー化およびサポート施設の充実を図ることが求められている。</p>
実施スケジュール	随時
予想される効果	利便性の向上による利用客の増加
取り組み主体	<p>(主務機関) 函館税関・北海道開発局・空港ビル・空整協</p> <p>・ 千観連・東京航空局</p>

案内表示等の改善

取り組み内容・目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ターミナルビル内の案内表示の改善 ・ターミナルビル内の各施設のPR
取り組みが求められる理由	<p>初めて訪れる利用者でも快適に施設を利用できるように、ターミナルビル内の案内表示について、全国的なマニュアル化に合わせ、問題がある表示については改善を図ることが求められている。</p> <p>また、ターミナルビル内の各施設を、案内表示・インフォメーションカウンター・HP等によりPRすることが求められている。</p>
実施スケジュール	随時
予想される効果	利便性の向上による利用客の増加
取り組み主体	(主務機関) 空港ビル・空整協・千観連・JR (関係機関) 北海道運輸局

外国語表示の充実

取り組み内容・目標	・空港ビル内案内標識の外国語表記の充実
取り組みが求められる理由	外国人旅行者の利便性およびホスピタリティー向上のため、空港ビル内の各施設案内表示の外国語表示をさらに充実させることが求められている。
実施スケジュール	随時
予想される効果	外国人利用者の利便性の向上による国際線利用客の増加
取り組み主体	(主務機関) 空港ビル・JR (関係機関) 北海道運輸局

(5) 空港を核とした地域づくり

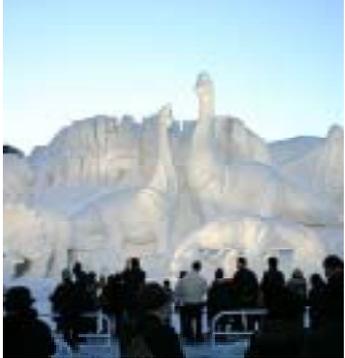
空港周辺への滞留の促進

取り組み内容・目標	・空港ビル内のサービス施設、展示物並びにイベント等の充実
取り組みが求められる理由	<p>航空機利用者以外のターミナルビル利用者を増やすため、空港ビル内のサービス施設や展示物の充実を図り、各種イベントを開催することが求められている。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">    </div> <p>写真は、新千歳空港ターミナルビルHPより転載</p>
実施スケジュール	随時
予想される効果	ターミナルビル利用者の増加による消費の増
取り組み主体	(主務機関) 空港ビル

空港周辺プロジェクトの推進

取り組み内容・目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 空港隣接地の優位さを利用した、企業誘致
取り組みが求められる理由	<p>空港隣接地域の優位性・利便性を生かし空港利用者を増やすために、空港周辺プロジェクトであるオフィスアルカディアを初めとする地域プロジェクトを推進し、企業誘致を進めることが求められている。</p> <div style="text-align: right;">  </div> <p style="text-align: right; font-size: small;">写真は千歳市のHPより転載</p>
実施スケジュール	随時
予想される効果	企業誘致による空港利用者の増加
取り組み主体	(主務機関) 地方自治体・道経連・道商連

国際的イベントのPR等

取り組み内容・目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国際的イベントのPR ・ 海外の国際旅行博への出展等によるPR ・ 国際会議の誘致
取り組みが求められる理由	<p>国際線の就航する空港を最大限に生かし、海外からの旅行者を誘致するため、国際的なイベントである「さっぽろ雪まつり」「YOSAKOIソーラン祭」「夕張国際映画祭」「スキワールドカップ」「国際ラリーJAPAN」等を積極的にPRすることが求められている。</p> <p>また、近年利用者がめざましい増加を見せる東アジア地域の、中心都市で開催される国際旅行博に出展し、北海道観光のPRを進め、更に利用者を増やすことが求められている。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>よさこいソーラン祭</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>さっぽろ雪まつり</p> </div> </div> <p style="text-align: right; font-size: small;">写真は、札幌市HPより転載</p>
実施スケジュール	随時
予想される効果	海外からの利用者増
取り組み主体	(主務機関) 北海道・地方自治体・道経連・道商連

外国人観光客の誘致

<p>取り組み内容・目標</p>	<p>・ビジット・ジャパン・キャンペーン地方連携事業の実施</p> 
<p>取り組みが求められる理由</p>	<p>政府では、2010年までに訪日外国人旅行者を1千万人に倍増することを目標に、平成15年度よりビジット・ジャパン・キャンペーンを実施しているところである。</p> <p>台湾・香港・韓国などからの東アジアを中心とした国際観光をきっかけに、北海道経済の活性化が求められている。</p>      <p style="text-align: right;">写真は、BJC.HPより転載</p>
<p>実施スケジュール</p>	<p>平成15年度～</p>
<p>予想される効果</p>	<p>海外からの利用者の増加</p>
<p>取り組み主体</p>	<p>(主務機関) 北海道運輸局 (関係機関) 地方自治体・道経連・千観連等</p>

空港の利用促進に関する市民参加

取り組み内容・目標	<ul style="list-style-type: none"> ・シーニックバイウェイ北海道との連携 ・地域の市民等と連携（空の日等）した景観の創出 ・地域自治体と連携したウェルカムボードの整備
取り組みが求められる理由	<p>観光客が到着して初めて目にする景観を、地域の市民と連携し創出するため、行政によるパートナーシップ形成に向け要請することが求められている。</p> <p>また、新千歳空港を訪れた方に歓迎の意を含めたウェルカムボードを設置し、ホスピタリティーの向上を図ることが求められている。</p> <div style="text-align: right;">  <p style="font-size: small;">もっつと笑顔 空行フロントライン 09120日#空の日</p> </div> <p style="text-align: center; font-size: small;">カットは、国土交通省HPより転載</p>
実施スケジュール	随時
予想される効果	利用者に好印象を与え利用者増を図る
取り組み主体	（主務機関）北海道・地方自治体・道経連・道商連 （関係機関）東京航空局・北海道運輸局・北海道開発局

北海道を舞台とする映画等のロケーション支援・誘致

取り組み内容・目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ロケーション情報の発信・PR ・制作者等への支援（ロケハン等の協力） ・ロケーション円滑実施のための仕組みづくり <div style="text-align: right;">  </div>
取り組みが求められる理由	<p>北海道は特色のある気候風土、豊かな自然環境といった映像資源の宝庫であり、映画やテレビドラマの舞台として数多くのロケーションが行われている。</p> <div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="flex: 1;">  </div> <div style="flex: 2; padding-left: 10px;"> <p>本道を舞台とする映画やテレビドラマなどのロケーションをより一層誘致するため、撮影に協力する地域や施設の情報提供等が求められている。</p> </div> </div> <p style="text-align: right; font-size: small;">写真は、北海道ロケーションサービスHPより転載</p>
実施スケジュール	平成13年～ 随時
予想される効果	地域の知名度向上、観光客の増加 出演者やロケ隊スタッフの宿泊・飲食や機材レンタルなどに伴う地域の経済効果
取り組み主体	（主務機関）北海道 （関係機関）北海道開発局・北海道運輸局・地方自治体・道経連・道商連

5 . プログラム推進体制

航空サービスは、単なる輸送手段としてのみならず、都市の再生、地域間交流の拡大、地域の振興にとって極めて重要な手段としての機能を有し、経済社会の活性化・国際競争力の向上のための基盤としての役割を果たしている。

さらに、わが国では2010年までに訪日外国人を1000万人にすることを目標に、観光立国実現のための様々な取組みが行われており、航空輸送に対しても重要な役割を担うことが期待されている。

今後、新千歳空港の関係者が、本プログラムで整理された諸施策を一丸となって積極的に推進し、新千歳空港の利用促進をさらに図り航空需要を喚起し、観光交流促進を図っていくことが重要であると考えられる。

- (1)本プログラムの推進にあたって
本プログラムを推進するため、新千歳空港利用促進協議会が中心となり、関係団体と連携して事業の推進を図る。
- (2)関係団体への協力要請
本プログラムを推進するため、新千歳空港利用促進協議会以外の関連する団体等に対し、積極的に協力を要請する。
- (3)本プログラム推進に向けた取り組み
本プログラムの推進に対し、一般市民等の理解と協力を得るため、新千歳空港利用促進協議会主催のイベントや、シンポジウムの開催及びアンケート調査等を実施する。
- (4)本プログラムのフォローアップ
本プログラムの推進状況については、毎年新千歳空港利用促進協議会において、その実施状況を評価し、必要に応じ内容の見直しを行い、地域の観光交流を着実に促進させる。
- (5)プログラムの実施機関（新千歳空港利用促進協議会）
 - 【国の機関】
 - ・北海道運輸局
 - ・北海道開発局
 - ・東京航空局
 - ・函館税関
 - ・札幌入国管理局
 - ・小樽検疫所
 - 【地方自治体】
 - ・北海道
 - ・札幌市
 - ・千歳市
 - ・苫小牧市
 - 【経済団体】
 - ・北海道経済連合会
 - ・北海道商工会議所連合会
 - 【関係事業者】
 - ・(株)日本航空ジャパン
 - ・全日本空輸(株)
 - ・北海道国際航空(株)
 - ・新千歳空港AOC(キャセイパシフィック航空)
 - ・北海道旅客鉄道(株)
 - ・北海道空港(株)
 - ・(財)空港環境整備協会
 - ・(社)千歳観光連盟